

本校福祉科2年の勝目さんの作文が、南日本新聞の「若い目」に掲載されましたので紹介します。

## 福祉に興味 出会いがきっかけ

薩摩中央高2年

勝目 愛梨

出会った頃は、名前を

呼んでも振り向いてくれなかった。大好きないとこは、食事も歩行も日常生活に介助が必要です。話すこともできませんが、私は幼い頃から一緒に遊んでいるので、顔の表情でなんでもわかります。

彼女は特別支援学校に通い始めてから、絵

を描くことが好きになりました。一緒に色塗りをする時は、指さしとささいな表情の変化で何色を塗ればよいか教えてくれます。一つのこと

に全集中する性格なので、集中力で彼女に勝つことは簡単ではありません。

法だけではなく、コミユニケーションや制度、疾患についても学びます。

障がいのある方など困っている人の力になるためには、優しさだけでなく、一つでも多くの知識や技術を身につける必要があります。でも、本当は大好きなあなたの力になりたくて勉強しています。福祉の勉強は、大切な人を笑顔にすることがだと思います。

(さつま町)